

令和5年度 第3回静岡市生涯学習推進審議会（第8期第3回）

日時：令和6年2月5日（月）午後1時30分

会場：興津生涯学習交流館 1階 大会議室1

次 第

1	開会	13 : 30
2	議事	
	(1) 報告事項	
	ア 生涯学習施設の運用改善について 資料1	13 : 40
	イ リーディングプロジェクトの実施状況について 資料2	14 : 10
	ウ 令和5年度優良公民館等表彰について 資料3-1、3-2、3-3	14 : 50
3	事務連絡	15 : 15
4	閉会	15 : 25

※会議終了後に、10～15分で施設見学を実施します。（希望者のみ）

R5年度検討内容

テーマ	現状・検討内容	R5年度の取組み
公共的団体の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・公共的団体とは、「厚生社会事業団体、教育文化スポーツ団体、地縁団体その他公益の実現を目的とし、国、静岡県又は静岡市の所管する事業に関する公益事業を行う団体」のこと。 ・公共的団体として優先利用している団体の一部について、その認定や公益事業であるか否かの判定が適切に行われていない例が見られるため、公共的団体として認定されている団体の定期的な認定の更新や認定範囲の厳格化などを行い、利用の公平化を図るよう運用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共的団体の認定期間の設定について検討 ・市の事業の一部を担い、共に活動する自治会等の一定の公益性を持つ団体については、認定を不要とする枠組みを検討
自由利用スペースの整備・利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習施設の既存のスペースを活用し、テーブルやイスを設置し、休憩や打合せなどに利用しやすい「自由利用スペース」を整備し、利用を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年4月1日からリニューアルオープンする藁科生涯学習センターに設置する方向で検討
葵生涯学習センターホールにおける優先予約	<ul style="list-style-type: none"> ・長期の準備期間が必要な行事・イベントに対する早期予約の要望や、活動を定期的・継続的に行うことができるよう要望がある。 ・多数の集客を伴うイベントや講演会等での利用を想定し整備された葵生涯学習センターのホールについて、広報や講師依頼等一定の準備期間を確保し、そのねらいに沿った利用の促進を図るため、7か月前からの予約を行えるよう試験的に運用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試行事業として、令和5年1月利用分から令和6年6月利用分(令和6年1月15日まで受付)まで実施し、計15件の利用があった。 ・今後、指定管理者と実施方法等について協議していく。
【新規】 営利活動の範囲について	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習施設は、公民館時代の社会教育法の考え方を引き継いだ関係から営利利用を禁止している。 ・利用団体の中にも私塾(代表者＝講師となり、会費を徴収している団体)のように見える団体がある。 ・国の考え方も営利利用を緩和させている傾向にあることから、今後のあり方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習施設の利用方法として、望ましい営利の範囲について検討した。 ・営利利用を解禁すると利用率が上がると同時に部屋の競争率も上がることから、今後も継続して協議していく。
【新規】 音楽利用について	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽利用について、施設の立地等により各館毎にルールがある。 ・コーラスから楽器演奏と様々な利用方法があり、音量等も異なることから利用できる部屋が限られる。 ・音楽利用できる部屋は軽運動室を兼ねていることが多く、稼働率が高くなっている。 ・各施設での音楽利用について可視化することで、利用者が施設を選択しやすくなるよう検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽利用について一定の共通ルールができないか検討 ・各部屋の利用方法についてどのような見せ方をすれば選択しやすくなるか検討

リーディングプロジェクト

第3次静岡市生涯学習推進大綱 第3章 推進計画 Ⅲ. リーディングプロジェクト P.17

令和5年度 実施状況

リーディングプロジェクト1

「大人の学び直し」を推進する“**Re**まなび”プロジェクト

(1) Reまなびシンポジウム

(2) Reまなび月間 (11月)

(3) 市民大学リレー講座

10月21日 (土) 14:00~16:00 会場：静岡労政会館 6階大ホール
 【内 容】第1部：基調講演「人生100年時代-働く大人の学び方-」
 第2部：パネルディスカッション「大人の学びの実践」
 【参加人数】135人 (うちビジネスパーソン：67人)
 【満足度】第1部：94.55%(N=104) 第2部：86.80%(N=101)
 【成果指標】仕事や就職活動に活かしていきたいと思う：98.04%(N=102)

- ・市関係施設、関係機関にポスター掲出
- ・鉄道広告でのポスター掲出 (2週間：11月11日~24日)
- ・市政情報番組での動画配信 (10月下旬~)
- ・FM-HI!(ラジオ)での周知 (11月13日)
- ・6大学の社会人向け講座を集約し、市HPに掲出

9月15日~11月17日 ※金曜 18:30~20:00
 (静大9/15, 常葉9/22, 理工科10/13, 英和10/27, 東海11/10, 県大11/7)
 【タイトル】まなびのリスタート
 【参加人数】計66人(会場28人、オンライン38人) 【満足度】80.50%

リーディングプロジェクト2

シン「**こ・こ・に**」プロジェクト

(1) 静岡シチズンカレッジ
こ・こ・に 推進

- ・キャリアチャレンジ学部：4講座 全31講座
- ・地域チャレンジ学部：25講座 順調に実施中
- ・高校生チャレンジコース：2講座 23講座終了 (12月末時点)
- ・まちづくりマスター研修：1月13日 (土) 実施「デジタルサービスを活用！」
- ・交流会ここにわ：3月2日 (土) 実施予定
- ・ここにわ相談(個別相談)：相談件数5件 (12月末時点)

リーディングプロジェクト3

生涯学習**DX**プロジェクト

(1) デジタル学習環境整備

(2) スポーツ・生涯学習施設
予約システム更新

(3) 高齢者向けスマホ講座

生涯学習施設での主催事業や貸館利用者への貸出しなどで活用するため、モバイルWi-Fiルーターの生涯学習施設への配備を進めている。
 ・葵生涯学習センターの1室 (第33集会室に常設)
 ・清水区の生涯学習交流館用に7台配備し、利用調整を行い19館で運用 (小島及び両河内は、地域BWA電波のエリア外のため運用不可)

キャッシュレス決済に対応するため、新たな予約システムに更新する。
 令和7年4月利用分からの運用開始を目指して開発を進めている。

指定管理仕様書：全生涯学習施設で年間1回以上の講座実施
 ・デジタルデバイドの解消に資する高齢者を対象とした講座
 ・総務省デジタル活用支援推進事業 (地域連携型) によるソフトバンク株のスマートフォン講座

令和6年度「Reまなびプロジェクト」推進事業の概要

1. 背景：社会情勢の激しい変化

- ・人生100年時代の到来によるマルチステージ化
- ・VUCAの時代(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)
- ・少子化、人口減少や高齢化
- ・グローバル化、地球規模課題
- ・DXの進展、AI、ロボット、グリーン(脱酸素) 等

2. 学びへの意識や学習行動の実状

■リカレント教育ニーズ調査(静岡県R2)

N:企業 1,060 / 県民 1,169

【認知度：リカレント教育 聞いたことがない】

企業 59.6% 県民 78.2%

【取組：取組んでいない、予定もない】

企業 82.9% 県民 89.0%

■市民意識調査(静岡市R5速報値) N: 1,271

【学校卒業後、学びをしたことがあるか】

大学の社会人講座 3.1% 民間のスクール等 16.4%

生涯学習施設 18.9% 個人学習 24.4%

特に学びをしたことがない 26.3%

3. これからの社会に求められる人材

【国：教育振興基本計画】

総括的な基本方針：「持続可能な社会の創り手の育成」

コンセプト：2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

▶将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていく

▶社会課題の解決と経済成長を結びつけてイノベーションにつながる取組や、一人一人の生産性向上等による活力ある社会の実現に向けた「人への投資」が必要

▶Society5.0で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

4. Reまなびに求められること

市民がこれからの社会に求められる人材になっていくために

<1>生涯にわたって学び続ける市民意識の醸成

<2>市民の自発的な学びの支援(学習行動への誘因)

<3>市民の学びの環境整備(学習機会の充実)

5. これからの社会に求められる「Reまなび」の取組み

市民が生涯にわたって学び続けていく基盤(プラットフォーム)を整える

<1>生涯にわたって学び続ける市民意識の醸成

①生涯にわたって学び続ける市民意識の醸成や学習行動への誘因

- ・ Reまなびシンポジウム：「大人の学び」をテーマにビジネスパーソンを対象としたシンポジウムを開催
- ・ Reまなび月間：厚生労働省が定める人材開発月間である11月を「Reまなび月間」として位置づけ、各種広報媒体などで啓発

<2>市民の自発的な学びの支援(学習行動への誘因)

②学ぶ意欲のある人への身近な学習機会の充実

市内32の生涯学習施設で、経済産業省が提唱する「人生100年時代の社会人基礎力」に関連する社会人としての新しい基礎力を身に付けることができる講座を60講座以上実施する。

<3>市民の学びの環境整備(学習機会の充実)

③教育機関として高度な専門教育を担う市内6大学の知的資源の活用

- ・ 静岡市大学連携生涯学習会議(年2回) ・ リスキリング、リカレント教育に関する情報発信
- ・ Reまなび大学リレー講座：市内6大学と市が連携し「大人の学び」をテーマとした連続講座を実施。各大学で実施しているリカレント教育を市民が活用するきっかけをつくる。

④リスキリング・成長分野の関係機関との連携

- ・ 静岡労働局、SHIP(静岡県)、静岡商工会議所、市内企業などとの継続的な連携

令和6年度「静岡シチズンカレッジ こ・こ・に」推進事業の概要

1. 背景：社会情勢の激しい変化

- ・人生100年時代の到来によるマルチステージ化
- ・VUCAの時代(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)
- ・少子化、人口減少や高齢化
- ・グローバル化、地球規模課題
- ・DXの進展、AI、ロボット、グリーン(脱酸素) 等

2. 現行の「こ・こ・に」の人材養成

主に市の施策(地域貢献や環境・福祉・教育など)に関連した社会の担い手となる人材養成を推進してきた。

この8年で講座数が3倍となり、分野も多様化し拡充している。(H28:10講座 → R5:31講座)

【課題】

今年度から、能力やスキル、キャリアの向上に資するキャリアチャレンジ学部を設けたが、市主催の4講座と少なく、内容的にもこれからの社会に求められるリカレント教育やリスキリングに対応できていない。

3. これからの社会に求められる人材養成

【国：教育振興基本計画】

総括的な基本方針：「持続可能な社会の創り手の育成」

コンセプト：2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

- ▶将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていく
- ▶社会課題の解決と経済成長を結びつけてイノベーションにつながる取組や、一人一人の生産性向上等による活力ある社会の実現に向けた「人への投資」が必要
- ▶Society5.0で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

4. 「こ・こ・に」に求められること

- (1)地域社会の担い手となる人材を養成し、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環を生み出す。
- (2)将来を見通したときに求められる分野「デジタルやグリーン(脱炭素など)等」の人材を養成し、静岡市の持続可能な発展を生み出す。

5. これからの社会に求められる「こ・こ・に」の事業変革

持続可能な静岡市の創り手を養成するプラットフォームへと変革していく

(1) 地域社会の担い手となる人材養成

地域チャレンジ学部の充実

- ▶地域貢献や環境・福祉・教育などを学び、市民生活を支える自発的な活動をする人材を養成

キャリアチャレンジ学部の充実

- ▶能力やスキル、キャリアを向上する学びから、地域経済を担う活躍やチャレンジをする人材を養成

【変革1】既存講座の質の向上

※主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材養成ができるプログラムを目指す。

【変革2】大学や民間(企業・NPO等)との協働での講座新設

※特に複雑化・高度化する企業課題や産業ニーズに対応して知識や技能をアップデートできるリスキリング的な視点の講座の充実を目指す。

(2) 将来を見通したときに求められる分野の人材養成

※静岡市の人材養成として、未開拓な分野への拡充

- ①庁内関係局(課)への課題提起と働きかけ
デジタル分野の人材養成：企画局 デジタル化推進課
グリーン分野の人材養成：環境局 環境創造課
- ②成長分野の人材養成を担う関係機関等との協働
▶「こ・こ・に」講座の新設(人材養成プログラムの協働開発)
- ③成長分野の人材養成を担う関係機関等との連携
▶「こ・こ・に」が起点やハブとなり、市民を成長分野の人材養成を担う関係機関等へつなぐ

【関係機関等】静岡労働局(ポリテクセンター・ハローワーク)
市内6大学(静大、県大、常葉、東海、静岡英和学院、静岡理工科)
静岡県(産業イノベーション推進課) SHIP(静岡イノベーションプラットフォーム)
静岡商工会議所(公財)静岡県産業振興財団(公財)産業雇用安定センター

プロジェクトの関連図

専門性高い

初級・基礎

仕事・就職
に役立つ

③教育機関として高度な専門教育を担う市内6大学の知的資源の活用

大学（大学院）での正規課程
放送大学・放送大学院

大学で実施している
社会人向けの公開講座

市民が生涯にわたって学び続けていく基盤

静岡市と市内6大学の連携
<市生涯学習推進課(直)>

- ・大学連携生涯学習会議(年2回)
- ・Reまなび大学リレー講座(全6回連続講座)
- ・大学で実施しているリスキリングやリカレント教育に関する情報発信

「こ・こ・に」人材養成講座
<市各課・大学や民間との協働>

- ・キャリアチャレンジ学部 拡充
- ・地域チャレンジ学部 継続

②学ぶ意欲のある人への身近な学習機会の充実

生涯学習施設(市内32施設)
<市生涯学習推進課(指)>

- ・社会人基礎力講座：60講座以上に拡充

市民をより高度な学びへと誘因

市民をリスキリングや成長分野の学びへと誘因

④リスキリング・成長分野
の関係機関との連携

SHIP <県産業イノベーション推進課(委)>
(ICTやDXの知識習得、交流・支援)

B・nest <市産業振興課(指)>
(中小企業や起業の講座、交流・支援)

CCC <市産業政策課(指)>
(クリエイターの育成講座・支援)

静岡商工会議所
(ビジネススクール)

(公財)静岡県産業振興財団
(中小企業向けビジネス講座・人材養成)

民間カルチャースクール
(SBS学苑, 朝日レビカルチャーなど)
・ビジネス講座 ・資格取得講座

【職業訓練】
・在職者訓練 ・離職者訓練
ポリテクセンター
ハローワーク <静岡労働局>
県立工科短期大学校 静岡キャンパス
<県職業能力開発課>

民間ビジネススクール
(大原簿記, 静岡ビジネス学院など)
・ビジネス講座 ・資格取得講座

①生涯にわたって学び続ける市民意識の醸成や学習行動への誘因

- ◆Reまなびシンポジウム(11月) ◆Reまなび月間(11月) <市生涯学習推進課(直)>

令和5年度 優良公民館等表彰について

1 第76回優良公民館表彰(文科省表彰)

(1)表彰概要

文部科学省では、公民館やその他公民館と同等の社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらした活動を行い、その活動成果を生かして、人づくり・まちづくり・地域づくりに大きく貢献しているものを優良公民館として文部科学省大臣が表彰し、今後の公民館活動の充実・振興に資することを目的に、表彰を実施しています。

(2)表彰式の開催

日時：令和6年2月9日（金） 10：30～11：00

場所：文部科学省東館 3階 第一講堂（東京都千代田区霞が関3-2-2）

(3)受賞館

静岡市大里生涯学習センター、静岡市高部生涯学習交流館

(4)受賞館の活動概要

資料3-2、3-3のとおり

2 令和5年度優良公民館等静岡県教育長表彰

(1)表彰概要

静岡県教育委員会教育長は、静岡県内の公民館及び、公民館と同等の社会教育活動を行う施設の活動を奨励するため、優良公民館等静岡県教育長表彰を実施しています。

(2)表彰式の開催

日時：令和6年1月31日（水） 10：05～11：05



場所：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」5階501会議室
（静岡市駿河区馬淵1-17-1）

(3)受賞館

静岡市南部生涯学習センター、静岡市両河内生涯学習交流館

(4)静岡県教育長表彰受賞館の活動概要

公民館名	事業名
静岡市南部生涯学習センター	まちかど花いっぱいプロジェクト
<p>【活動概要】</p> <p>南部生涯学習センターでは、地域の環境整備活動に関わる人の増加を図るため、花壇づくりという身近なことから地域に貢献できると実感できる機会を提供している。</p> <p>平成27年度より施設の花壇づくりに携わる人材を育成することから始まった事業であるが、施設の敷地内にとどまらず、地域の花壇整備にも活動を広げている。平成29年度には、同センターの周辺地域の花壇を地図にまとめる「花の地図づくり」、平成30年度には周辺地域の花壇を巡る「なんぶ花さんぽ」を実施し、情報収集とともに、花壇づくりに携わる団体との関係を構築した。令和4年度には、「産業フェアしずおか2022」にて活動成果を発表した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

公民館名	事業名
静岡市両河内生涯学習交流館	中河内の在来大豆「ここ豆くん」づくり
<p>【活動概要】</p> <p>両河内生涯学習交流館では、平成30年度から2年間、地区の連合自治会と清水区役所が協働で実施した「地域資源の掘り起こしによる地域コミュニティの活性化」の取組みの中心となった在来大豆の「ここ豆くん」を取り上げ、令和元年度より講座（全5回）を実施している。</p> <p>講座を通じて、在来大豆の理解、農作業体験を通じた自然との触れ合い等により交流を深めることによる地域活性化を目指し、まちづくりにつながるよう取り組んでいる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

「大里かるた」でふるさと再発見！



静岡市大里生涯学習センター(静岡県)

公民館の沿革・年表

- ・平成7年 旧静岡市8番目の公民館として市立大里中学校、大里保健福祉センターとの複合施設で開館
- ・平成10年 静岡県優良公民館表彰受賞
- ・平成20年 大里生涯学習センターへ移行
- ・平成21年 指定管理となる
- ・令和3年 静岡県教育長表彰受賞

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

- ・大里生涯学習センターは、当時としては珍しい中学校との複合施設として設立されました。学校とは渡り廊下で繋がっています。
- ・施設駐車場の花壇には、四季折々の草花が植栽され、来館者や地域住民の目を楽しませています。これはセンター事業で養成した花壇ボランティアの人たちの手入れによるものです。
- ・書道の活動をしている利用団体が、中学校の特別支援学級へ出向き、生徒の学習支援に取り組むことで、世代間交流と社会的包摂への理解を高める機会を提供しています。

公民館情報		1. 公民館対象人口	42085人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	平成7年3月31日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 ((公財)静岡市文化振興財団) <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3918人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 36746人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 40,664人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 5人				
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (保健福祉センター) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (大里中学校、大里保健福祉センター、静岡市音楽館、静岡市科学館、静岡市美術館、静岡市歴史博物館)				

静岡市大里生涯学習センター

OPEN 9:00~21:30

H P

<https://sgc.shizuokacity.jp/>

TEL 054-283-1698

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

平成26年に市内を流れる一級河川「安倍川」近隣に在る生涯学習センター 5 館と静岡科学館とで、安倍川をテーマとした「安倍川流域まち歩きMAP」を市民参加で制作した。その後、MAPづくりの際に収集した地域の歴史や文化の情報を整理し、大里地域の特徴である「川と水」に着目、「川と水」をキーワードとした各種事業を実施した。平成29年に、その成果のまとめとして「大里かるた」を制作した。

かるた制作後は、かるたで取り上げた文化財等の周知、理解を深め地域への愛着を涵養するために「ウォーキングコースの設定」や「ウォーキングガイドの養成」を行い、副読本の制作にも取り組んでいる。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【ウォーキングガイド養成講座（ボランティア養成）】

「大里かるた」普及のため、カルタ札に取り上げた場所を巡るウォーキングコースを市民と協働で作成。札場所の紹介役を分担し、各自が調査し紹介文を作成、ウォーキングコースを巡る講座開催の際には市民へ解説するガイドを担う。

【大里かるた大会（地域資源を活用したまちづくり）】

大里地域に在る、幼稚園・保育園、小中学校へ出前授業を行い、「大里かるた」の普及を図っている。かるた遊びを楽しむことに留まらず、絵札を解説することで地域の歴史や文化への関心を高め、自分たちが暮らす地域への愛着心を育む機会としている。

【副読本の制作（記録・保存活動）】

個々のカルタ札の解説とウォーキングコースの紹介を目的とした副読本の制作に取り組んでいる。読み札の限られたスペースに収めきれなかった情報や、ウォーキングコース設定の経緯や特色等を紹介し、地域を巡る際のガイド本となることを目指している。



ウォーキングガイド養成講座の様子



ウォーキング講座の様子

3. 取組による成果や効果

- ・かるた大会への参加者の増加。
- ・高齢者学級や女性学級など当センターで開催する事業での活用。
- ・他の生涯学習センターでの活用。
- ・学校の地域学習（総合・情報等）の時間の教材としての活用。
- ・地域包括支援センターや老人会での活用。
- ・史跡所有者の啓蒙と保存活動の活性化への寄与。



かるた大会の様子

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・平成26年のMAP作り以来、大学教授に監修を依頼し、適宜評価、助言を得ている。
- ・生涯学習センター運営委員会で活動報告を行い評価されるとともに、情報や協力を得ている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

現在は住宅や工場が多数立地し市街地近郊地区として発展している大里地域だが、元々は郊外の農村だった為、これといった特色が無い「何も無いところ」と考える住民が多い。しかしながら昔から人の営みがあった土地であり、その歴史を窺い知る史跡が点在しており、それらから地域の歴史や特色を窺い知ることが出来る。地域の特徴を知ることによって地域への関心が高まり、地域への愛着を深め、地域を誇りに思う人が増えることが、この地域の発展に寄与すると考えて事業に取り組んでいる。



ウォーキングコース

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

少子高齢化や地域コミュニティの衰退等の諸問題に加え、長く続いたコロナ禍が人々のライフスタイルに様々な影響を及ぼし、生涯学習センターへの要望も変化してきている。市民に寄り添い、市民の学習やまちづくりの活動を支援する施設として、市民ニーズの的確な把握に努め、その期待に応える施設であり続けたい。



大里かるた

人・自然の調和するまち 高部

静岡市高部生涯学習交流館(静岡県)



公民館の沿革・年表

- ・昭和32年3月 清水市高部公民館
- ・昭和52年 静岡県公民館連絡協議会
優良公民館表彰受賞(県教育長賞)
- ・昭和56年 優良公民館等文部大臣表彰受賞
- ・平成15年 静岡市高部公民館(合併により名称変更)
- ・平成20年 静岡市高部生涯学習交流館
(教育委員会から市長部局移管により名称変更)
- ・令和4年 優良公民館等静岡県教育長表彰受賞

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

(上写真)

高部生涯学習交流館全景

高部小学校敷地内にあるため、学校との連携もし易く、小学生も利用し易い。

(下写真)

目玉講座「不登校のSOSとケアについて」受講風景

公民館情報		1. 公民館対象人口	16718人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	昭和54年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	-
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (清水区生涯学習交流館運営協議会) <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2903人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 24575人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1,229人 <input type="checkbox"/> その他 0人 () 合計 28,707人				
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 6人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 6人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (教室等会費)				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (小学校施設内に有るので、生徒が利用しやすい。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (市立高部小学校、自治会、任意団体、静岡市)				

静岡市高部生涯学習交流館

OPEN 9:00~21:30 H P [http:// www.sgk-shimizuku-shizuoka.jp](http://www.sgk-shimizuku-shizuoka.jp)
 TEL 054-346-0828 SNS

HP等のQRコード(なければ削除)

SNS等のQRコード(なければ削除)



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

全国的に不登校が増える中において、静岡市また高部地区でも当事者である児童やその家族、教育機関が苦慮する状況で、その不安を払しょくする一助、きっかけとなることを願い、多角的な切り口で体験談、医師の視点、心の癒しなど、体系だった講座を企画しました。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

不登校の当事者、その家族、不登校に対応する教育機関などそれぞれの方の課題解決の糸口になるために、別々の視点からの講義を三回行いました。

1. 不登校の現状とケア、体験談と進路について

「母親の体験談、不登校の理解とサポート」をテーマに進め、最初に体験談として学校に行けなくなった本人と家族の戸惑い、葛藤、母親が見守りながら子ども自身で進路を決めていく経緯や現在はいきいきと仕事をしている話を聞きました。

次に元中学校長でその後教育にとどまらない各種相談業務を行っている講師による座学として「不登校とは、四つのサイン、タイプ、不登校の経緯・段階、具体的な四つの事例、接し方、進路選択について」の話を聞きました。

その後、参加した動機や感想について話し合い共有の時間を持ちました。

2. 医師による「いのちのおはなし」

緩和ケアや終末医療に関わっている医師より「いのちの授業」を聞きました。

「悲しみ」を心で理解することの難しさ、寄り添いながら思いを共感する大切さを学びました。

3. アロマテラピーの活用

家族が子供のケアとコミュニケーションをとる方法を学び、張り詰めた緊張をほぐすためアロマテラピーを活用するマッサージなどを体験しました。



講座風景（ディスカッション）



講座風景（アロマテラピー）

3. 取組による成果や効果

参加者は多様で、当該家族、対応する立場の方、特定の講師の話を聞きたい方など様々でした。三回が全く違う視点からのものなので、全ての回で深い理解ができた方も居れば、ある講座に関しては参加ニーズとは違って受容できない方もおられましたが、アンケートでは好評な意見が多く、今後に生かせるという声を多くいただきました。体験談を聞いた時には涙を流して聞く方も居て、みなさん真剣に聞かれていました。

全体的にはとてもありがたかったという声が多く、講義に対する感謝だけでなく、参加者同士で感想を聞き、共有できたことに喜んで居る方もいて、好調な成果、効果を得られたと考えられます。



講座風景（いのちの授業）

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

好調な成果、効果を得られた一方で、一部の方の感想として、ご自身が求めたものと違う回が有ったという方が居られたので、今後の対応としては、募集の時点で、それぞれの回についてもう少し細かい周知を考えたいと思います。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

生涯学習交流館は「つどう」「むすぶ」「まなぶ」場です。高部は元々地域の方々が利用される頻度が高い交流館ですので、自治会などとも協力して、地域の輪を育てる役割を担いたいと思います。



自治会主催ヨガ

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

上記のように地域の方々の利用はとても多いので、それを活かして地域の人材育成に力を入れるとともに、リピーター以外の新しい利用者の開拓も考えていきたいと思っています。



人材育成（防災講座）